

支援金額は最大80万円！

平成31年4月1日以降に導入

病院は…最大**80万円**
診療所は…最大**50万円**

平成31年3月31日以前に導入

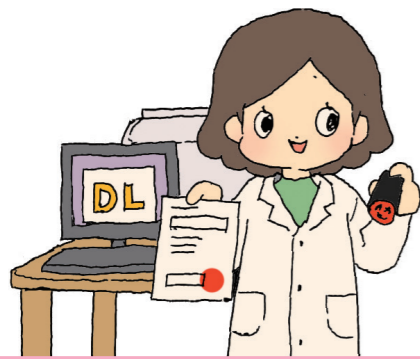
病院は…最大**50万円**
診療所は…最大**40万円**

※導入とは医療機関に労レセシステムが納品された日付をさします。

区分	限度額	
	①平成31年4月以降導入	②平成31年3月以前導入
病床20床以上	800,000円	500,000円
病床20床未満	500,000円	400,000円

※1,000円未満の端数切り捨て

実支出額に2分の1を乗じた額を原則お支払いしますが、区分ごとに定める限度額を上限とします。ただし、選定された合計額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとします。



WEBダウンロードで簡単に申請できます！

申請書がWEBサイトからダウンロードできるようになりました。PDFに直接入力できるので、書き直しの心配もありません。印刷したら、必要箇所に署名・捺印をして、あとは添付書類が揃えば申請ができます。

各都道府県労働局一覧

北海道局 (直) 011-716-2080	石川局 (直) 076-265-4426	岡山局 (直) 086-206-1821
青森局 (直) 017-734-4115	福井局 (直) 0776-22-2656	広島局 (直) 082-221-9245
岩手局 (直) 019-604-3009	山梨局 (直) 055-236-5880	山口局 (直) 083-922-0222
宮城局 (直) 022-292-7301	長野局 (直) 026-480-0707	徳島局 (直) 088-652-9144
秋田局 (直) 018-800-9533	岐阜局 (直) 058-265-3016	香川局 (直) 087-811-3215
山形局 (直) 023-624-8227	静岡局 (直) 054-653-6050	愛媛局 (直) 089-998-6580
福島局 (直) 024-529-5376	愛知局 (直) 052-855-2148	高知局 (直) 088-885-6025
茨城局 (直) 029-224-6217	三重局 (直) 059-213-5511	福岡局 (直) 092-433-7225
栃木局 (直) 028-610-0900	滋賀局 (直) 077-522-1131	佐賀局 (直) 0952-32-7166
群馬局 (直) 027-896-4738	京都局 (直) 075-211-4100	長崎局 (直) 095-801-0019
埼玉局 (直) 048-826-6717	大阪局 (直) 06-7711-0740	熊本局 (直) 096-211-1122
千葉局 (直) 043-202-2370	兵庫局 (直) 078-367-9157	大分局 (直) 097-533-8200
東京局 (直) 03-5812-8391	奈良局 (直) 0742-32-1071	宮崎局 (直) 0985-38-8837
神奈川局 (直) 045-222-6625	和歌山局 (直) 073-488-7366	鹿児島局 (直) 099-216-8616
新潟局 (直) 025-283-2123	鳥取局 (直) 0857-29-1706	沖縄局 (直) 098-868-3559
富山局 (直) 076-432-2739	島根局 (直) 0852-31-1159	

今こそオンライン化！

労災レセプト電算処理システム

オンライン化は簡単で便利です。

導入される労災指定医療機関のみなさまに対し、導入支援金をお支払します。

令和3年3月より
アフターケアも
オンライン対応
開始予定！



オンライン請求になり、レセプト提出期限まで時間の余裕ができました。それに加え、請求前にエラーのチェックのできることから、より正確な請求ができるようになりました。(大阪府/Kクリニック)

紙レセプトを作成する手間が省けて作業がとてスムーズになりました。書き写しの間違いやレセプト用紙の取り寄せの手間が省けます。(福岡県/H医院)

導入や導入支援金に関するお問い合わせ

労レセシステム普及促進センター ヘルプデスク

TEL: 0120-900-673
(土日祝日は除く、平日9:00~18:00)

FAX: 0120-900-681
E-mail: info@rourece.org



WEB: <http://www.rourece.mhlw.go.jp/>

労災レセプトオンライン化ナビ 検索

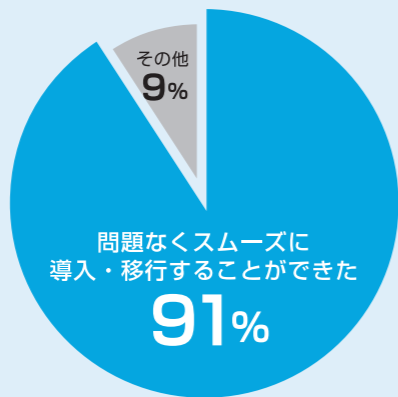
オンライン請求を導入した医療機関さまの声

平成28年4月以降にオンライン請求を導入した全国の労災指定医療機関さまに向けて、アンケートを実施しました。

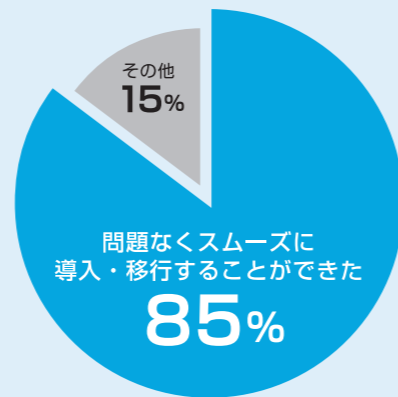
Q.労災レセプトのオンライン化導入及び運用移行はどのような状況であったのか、お教えてください。

約90%の方がスムーズな導入・移行を行っています。

労災レセプトのオンライン化について導入された医療機関にお聞きしたところ、オンライン化導入及び運用移行の状況について、病院では91%、診療所では85%の方に「問題なくスムーズに導入・移行することができた」と回答いただきました。
(有効回答数 779件)

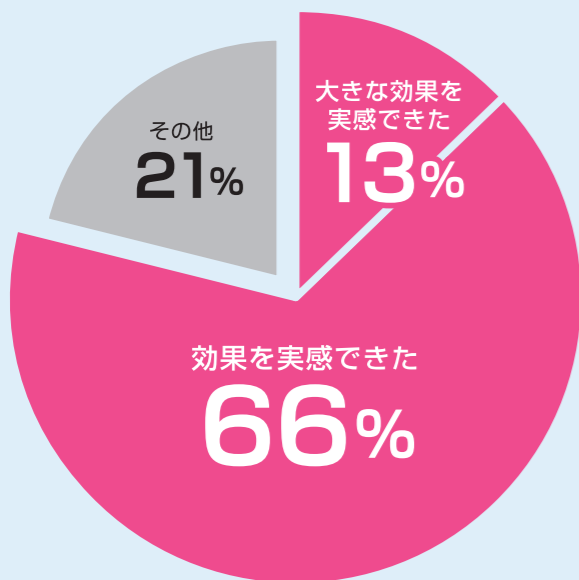


[病院]



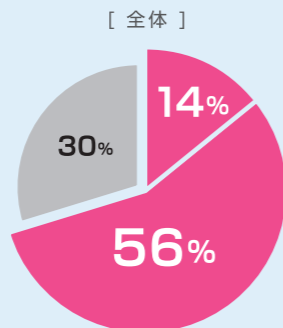
[診療所]

[取扱件数が月10件以上]



Q.システム導入による、効果(業務への影響)について、お教えてください。

70~80%の方が導入した効果を実感しています。



[全体]

労災レセプトのオンライン化について導入された医療機関及び薬局にお聞きしたところ、導入による業務への影響について、取扱件数が月10件以上では、約80%の方に、「導入効果があった」と回答いただきました。尚、全体では70%の方が「導入効果があった」と回答いただきました。
(有効回答数 1,083件)

オンライン化は簡単で便利！

労災レセプト電算処理システムのメリット

- メリット1 明快**

査定結果・理由・支払額が分かります。
これまでの「労災診療費支払振込通知書」とは別に、システム上で診療行為ごとの「査定結果・理由」「支払額」を確認できます。また、それらのファイルのダウンロードも可能です。
- メリット2 確実**

事前にデータの不備をチェックできます。
請求前に事前の点検(受付前点検)を行うことにより、レセプトデータをシステム上でチェックできます。記入漏れや誤りのないレセプト作成により、請求業務がスムーズになります。
- メリット3 余裕**

受付時間が延長されます。
土・日・祝日でも、毎月5~7日は8~21時、8~10日は8~24時までにご請求することができます。また、データに不備があり、10日までに請求できなかった件数分は、当月の12日まで修正して請求することができます。
- メリット4 安全**

個人情報の流出防止など、セキュリティが向上します。
レセプトの搬送(窓口への持参又は送付)時の破損や紛失などを回避できます。オンライン請求は安全性の高いネットワーク回線を利用するため、セキュリティが向上します。
- メリット5 お得**

電子化による点数が算定できます。
レセプト1件あたり、5点の労災電子化加算がされます。
(令和4年3月診療分までの予定です。薬剤費レセプトは対象となりません。)

導入支援金をお支払します(申請までの流れ)

